

# 登米高の志教育

「かかわる」「もとめる」「はたす」  
～ 夢ある限り挑戦！ ～

令和3年度 第4号

令和4年3月22日発行

企画・編集：志教育担当

## 今年度の活動を振り返って（4）

前号に引き続き総合的な探究の時間を中心に振り返ります。

### 1 進路探究Ⅲ 発表会（3年生）

もとめる

3年生では「進路探究Ⅲ」として各自ができるだけ自分の進路に関連するテーマを設定して、そこから課題設定して学習に取り組みました。地元の活性化、美容室への来店者数減少防止、献血率の向上、看護師や臨床工学技士不足への対応、災害時の備蓄不足などについての解決策を調査し、まとめました。

12月6日にはクラスごとに発表を行いました。13日には代表7名が全体発表を行いました。全体発表の際は石巻専修大学教授梅山光広先生、NPO法人奏海の杜代表理事の太齋京子先生、本校の佐々木真由美校長先生の3名に助言いただきました。それぞれの専門的な立場からの助言でさらに探究が深まりました。



クラスでの発表の様子（2021.12.6）



全体発表会（2021.12.13@多目的ホール）

### 2 進路探究Ⅲ 講演会（3年生）

かかわる はたす

今回の締めくくりとして、NPO法人奏海の杜代表理事の太齋京子先生に講演いただきました。

「障害があってもなくても誰もが自分らしく暮らせる地域をめざして —探究による気づきから始まる活動の10年—」と題してこれまでの実践をお話いただきました。地域の課題解決のために考え、行動している太齋先生です。3年間の探究学習をどのように生かすのかヒントになったことと思います。太齋先生、ありがとうございました。



### 3 登米講座（1年生）

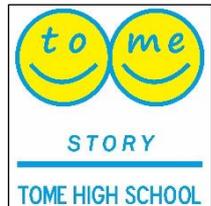
かかわる

登米町は江戸時代、伊達家一門の登米伊達家（21000石）が治めた城下町です。今年度も登米伊達家第16代ご当主の伊達宗弘先生（本校学校評議員，仙台大学客員教授）をお招きし，登米の歴史についてわかりやすくお話しいただきました。地域探究を進める上で大いに参考になりました。伊達先生，ありがとうございました。



## Dream Challenge Plan 大解剖（その2）

### 生徒指導ストーリー 社会での役割を「はたす」



みなさんの学校生活や生徒会活動，学校行事にかかわる部分です。

#### 1 基本的な生活習慣の確立と積極的な生徒指導の展開

- ・「登高生としての気概と品格」を育てる。
- ・交通安全（マナーを身につける。）
- ・いじめの未然防止

#### 2 部活動，生徒会活動等の充実

- ・部活動の充実（人間形成，広い視野，強い意志）
- ・生徒会活動や学校行事の活性化（自主性，達成感，自己
- ※ ひざ掛け，ブランケットの使用について（自主性について考える。）



今では考査などの際を除いて使用が許可されているひざ掛けやブランケットですが，5年前までは使用が禁止されていました。4年前に生徒会役員が提案して，自分たちでルールを設定し，試行期間（お試し期間）を経て（その間，ルール違反がなかったので），学校の許可を得ることができて現在のようなルールになりました。みなさんの先輩方が築いた伝統でもあります。

#### ※ 学校行事の自主的な運営

体育大会や登高祭は大きな学校行事です。「実行委員会」が組織されているのは生徒のみなさんが企画，運営していく中心であることを意味しています。最近では新型コロナの影響で思うようにできないことも多いかと思いますが，実行委員会が中心となり，先生方と協議，協力してより充実させていってほしいと思います。

#### 3 豊かな心を育み健やかな身体を育てる指導

- ・教育相談体制の充実 スクールカウンセラーの配置（月2回）
- ・清掃美化活動，ボランティア・貢献的活動の推進
- ※ 美化コンクールの実施など生徒のみなさんの活動も大きいです。
- ・保健教育（命の大切さ，望ましい生活習慣） 保健講話
- ・防災教育（自助・共助の意識の育成） 避難訓練，防災講話，防災学習
- ※ 防災委員は避難訓練後の講評の進行や通信の作成をしています。
- ・朝の読書活動の推進 ※ 図書委員会の掲示「朝の読書の4原則」

跋 平成26年に赴任した時の体育祭が忘れられません。開会式で当時の3年生が一発芸的なことをして盛り上げていました。「登高魂ってこういうものなんだろうなあ」と思った瞬間でした。まさに，生徒による生徒のための学校行事であったように思います。今年度の文化祭等でも発揮されており，うれしく思いました。（文責 志教育担当）